

## 復興まちづくり訓練の参加者

単 少傑 大村 瑞穂 橋本 弘義 小野田 光輝 杉山 誠 原田 逸郎 塩澤 正裕	広見町 1 広見町 1 広見町 1 広見町 2 広見町 2 広見町 2 広見町 3	藤田 哲哉 森井 里美 藤澤 秀臣 坂本 佳典 宇佐美 久美子 川口 理絵 勝亦 美文	広見町 3 広見町 3 広見町 6 広見町 6 広見町 7 広見町 7 広見町 7	大野 直人 山口 和子 高木 秀治 三澤 美志 加藤 和正 勝又 茂治 眞 不二夫	広見ショッピング商店会 広見ショッピング商店会 広見ショッピング商店会 広見ショッピング商店会 広見ショッピング商店会 広見まちづくり協議会 広見まちづくり協議会
--	---	---	---	---	---



## 参加者の声（アンケートより）

- ▶参加していなかったら被災した時に何をしていたのか全くわからなかった。
- ▶参加前は漠然と考えていた被災後のまちづくりが参加後では出来ることと出来ないことがはっきり区別できた。
- ▶大きな災害の取組み方について少しは理解出来た。
- ▶まちづくり、人づくり、魅力ある商店街、難しいと思った。
- ▶事前に出来ることもあるので進めていければよい。
- ▶若い方々向けの講習もあったらよい。
- ▶実感がなかった。
- ▶事前に出来ることを少しずつでも取組んでいこうと思う。
- ▶商店会の組織を事前に作り、考え方を町内会とともにまとめたい。
- ▶防災は事前準備が必要不可欠と確認できた。
- ▶防災活動と違った形での認識ができた

## オブザーバー：池田浩敬教授（常葉大学 社会環境学部）からのメッセージ



今回の復興まちづくり訓練は、元旦に発生した能登半島地震からの復興と時期的に重なっていて、参加者の皆様も“他人事”ではなく“自分事”として捉えて、熱心に議論されていたのが大変印象的でした。特に今回は、弁護士の永野海先生が作られたカードゲームを用いて、震災からの住宅再建過程を疑似体験して頂くという取り組みも初めて取り入れ、復興の難しさも実感して頂けたのではないのでしょうか。

また、復興まちづくりの議論をしていると、復興の課題は、魅力ある商店街づくり、そのための人づくり・組織づくりといった日常の課題の延長線上にあるもので、日頃（事前）の継続的な取り組みが、災害後の復興にも如何に重要かということに参加者の皆さんが理解されたのではないかと思います。

## 被災した場合に、迅速かつ着実な復興を目指すために

被災後の混乱期であっても迅速かつ着実な復興を目指すためには、被災前から「地区の復興をどのように進めるか」を考えておくことが重要です。本計画で位置付けた取組を実施可能なものから進めることで、地域の防災力を高め、より良いまちづくりを目指していきましょう。

### 【問い合わせ先】

富士市 都市整備部 都市計画課 都市政策担当 〒417-8601 富士市永田町一丁目 100 番地  
TEL : 0545-55-2785 FAX : 0545-51-0475 E-mail : toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp

# 復興まちづくりニュース

～広見商店街周辺地区 編～

## 広見商店街周辺地区 復興まちづくり訓練を実施しました

広見商店街周辺地区では、「災害が発生した場合に、どのような被害が発生し、復興をどのように進めるか」について、市民・商店主・行政と一緒に考える「復興まちづくり訓練」を実施しました。

復興まちづくり訓練で出された意見をもとに、被災後の復興で目指す地区のまちづくりの方向性や、円滑な復興を実現するための取組などを示した「広見商店街周辺地区 復興まちづくり計画【訓練版】」を作成しました。

## 事前復興について

南海トラフを震源とする巨大地震への危機感が高まっている中、被災しても迅速かつ着実に復興を実現することができるよう、災害発生前から**事前に復興**の準備を進める必要があります。

**事前復興**とは、あらかじめ、復興の課題を想定し、復興まちづくりの方向性や進め方について、市民の皆さんと行政と一緒に考えておくことです。

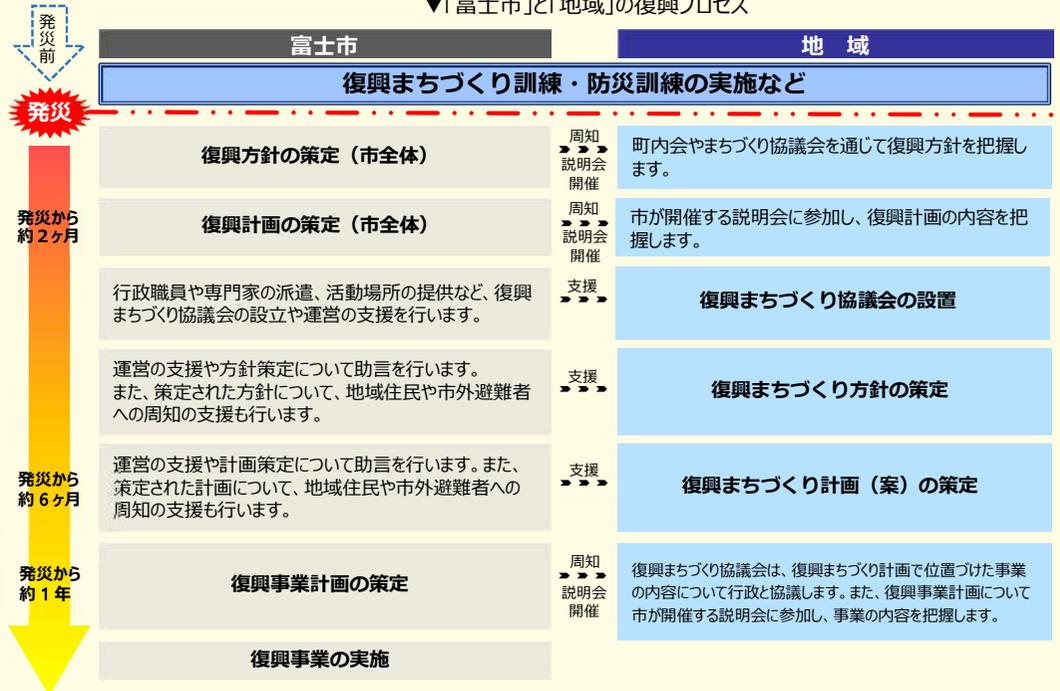
## 復興とは？

**復旧**とは、道路や河川、上下水道等のライフラインの復旧といわれるように、被災の影響を「ゼロ」に戻していくことです。

# 復旧・復興

**復興**とは、まちの復興、産業の復興と言われるように、被災前の状態より「プラス」の状態を作り出していくことです。

▼「富士市」と「地域」の復興プロセス



# 復興まちづくり計画【訓練版】

この「復興まちづくり計画【訓練版】」は、災害が実際に起きた時に作成する、復興まちづくり計画の叩き台となるものです。

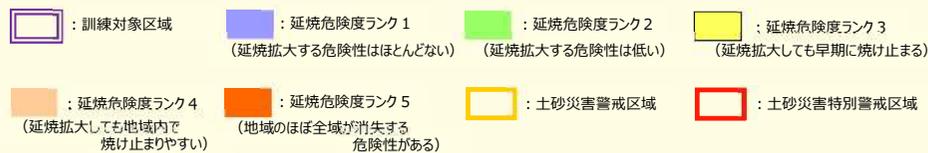
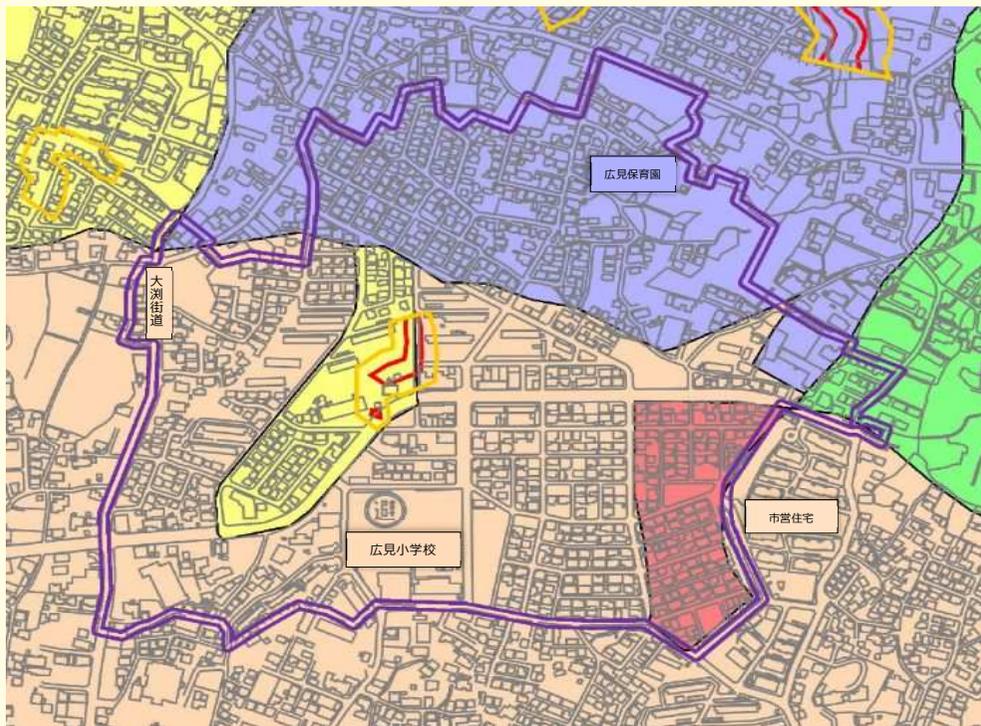
## 復興まちづくり訓練の流れ

本計画を策定するにあたって、ワークショップ形式での「広見商店街周辺地区 復興まちづくり訓練」を計4回実施し、災害リスクの確認、復興まちづくり方針や具体的な取組の検討などを行いました。

開催回	日程	内容
第1回	令和6年2月5日	事前復興の必要性を確認し、被災からの生活再建を考える
第2回	令和6年3月26日	地区の現状を確認し、復興で目指すまちづくりの方針や取組を考える
第3回	令和6年5月13日	「復興まちづくり方針」を実現するための取組を考える
第4回	令和6年7月22日	今からできる取組を考え、「復興まちづくり計画【復興版】」をまとめる

## 01 広見商店街周辺地区の被害想定

訓練対象区域内における災害リスクとして、災害発生時に火災が起きた場合に延焼の危険性が高い地域があります。また、土砂災害（特別）警戒区域に指定されている場所があります。



「延焼危険度」とは・・・発災時に各地域で予想される火災延焼についての危険性を示したものです。

## 02 広見商店街周辺地区の良いところ、改善したいところ

復興で目指すまちをイメージするために、地区の現状を、暮らし、安全・安心、伝統・歴史・文化、景観・自然環境の視点から再確認しました。



## 03 広見商店街周辺地区の復興まちづくり方針【訓練版】

地区の良いところと改善したいところから出された意見を基に、復興まちづくりの方針を決めました。

- ★ 便利で賑わいのある商店街
- ★ 商店街や住人の安全が守られるインフラ整備
- ★ 老若男女が集うまち

## 04 復興まちづくり方針を実現するための取組

復興まちづくり方針【訓練版】に沿ってまちの復興を迅速かつ着実に進めるために、被災後に必要な取組と今からできる取組を考えました。

暮らし	安全・安心	伝統・歴史・文化	景観・自然環境
被災後に必要な取組			
★ 商店会の話し合い取り決め	★ まちづくり協議会と商店会の話し合い	★ 祭り、行事の再開	★ 公園の整備
★ 商店街の再建、集約	★ 道路の整備	★ イベントの継続	★ 電柱の地中化
★ 地区内の巡視	★ 災害に強い家づくり	★ 財政的な支援	★ 地区計画の整備
	★ ユニバーサルデザインを取り入れた道の整備		
	★ 防災計画の整備・見直し		
今からできる取組			
★ 商店会の災害対策組織を作る	★ 耐震診断や補強を実施	★ ひろみ市の継続と若者が集まりそうな行事の企画	★ 桜の植替え、並木の見直し計画を立てる
★ 商店会と町内会の話し合い	★ 区画・道路の勉強会を実施	★ ラジオエフ・SNS等によるイベントの周知	★ 公園の整備推進
★ 生活に必要となるお店をあらかじめ決めておく	★ 広くしたい道路を普段から考えておく	★ 企業を巻き込んだイベントの実施	★ 富士山ビュースポットの整理
★ 商店街の耐震調査	★ 防犯カメラの設置推進	★ イベント継承のために取決めやマニュアルを作成する	★ 避難する公園の割振りを決めておく
★ 商店街に対する住民のニーズ調査	★ 歩道の調査と整備推進	★ 子供会の復活	★ 防火帯がどこにどれだけ必要か確認しておく
★ 商店主の意向調査			★ 復興する公園の機能や場所を事前に決めておく
★ 復興において重要なことの優先順位を付けておく			